

# 外輪

H27.6.8(月)発行 文責:上田

## 豊かな心の育成 … ②

5年生の授業風景です。真剣ですよ。ね。



熊本県では、6月を「心のきずなを深める月間」と定め、いじめを許さない学校・学級づくりのための取組を進めています。

さて、6月2日(火)の熊日新聞に、「自分と人の命 大切に～佐世保 同級生殺害 11年で集会～」という記事がありました。この事件の衝撃を私は今も忘れることができません。カーテンで閉ざされた校舎の映像とともに、心に深く刻まれています。

いじめ、不登校、体罰、虐待と、この一月でも心を痛める記事がたくさんありますが、その一方で、命を輝かせている子どもたちの記事に勇気づけられていることも、また確かです。

本校では、この「心のきずなを深める月間」の取組として、先月後半に、学級での人権学習、全校での人権集会を実施しました。「友達の言葉がうれしかった」「友達のよさを感じた」という子どもたちの発表を聞きながら、どの子も「めざす児童像」「◎・が・い・し」にもあるような「思いやりとやる気にあふれた子ども」でいてほしいなあと強く感じました。

### “絆(きずな)づくり”で“いじめ0”

人から認められ、人の役に立っているという自己有用感を子どもが感じとれる絆づくりを進めることができれば、いじめを生まない、いじめに向かう子どもを減らすことができます。端的に、いじめなんてくだらないと言えるよう育てる事です。そのために、授業や行事など、学校の教育活動のあらゆる場で人とかかわる中で、活躍できる場面をつくりだし、自己有用感を高めることに努めています。成果を伴わなくても、周りから認められることがここでの活躍です。

5月末、そして昨日とソフトボールの対外試合がありました。いろいろな局面で子どもたちが見せる表情のその豊かさからは、互いを認め合うすばらしい体験、活躍ができていると確信しました。

**郡市学童規模別ソフトボール大会** **優勝 (B群連覇)** **第3位**

**YMCA高原杯ソフトボール大会** **第3位** **おめでとう！！**

5月30・31日の規模別ソフトのA(6年)チームの優勝、そしてB(4・5年)チームの第3位、おめでとうございます。また、6月7日の高原杯ソフトに出場したAチームの第3位、おめでとうございます。休日にもかかわらずたくさんのご家族の皆さんに応援いただいたことも励みになったようです。ありがとうございました。

※ 近日中に、学校HP「新着情報」に写真を掲載します。そちらもご覧ください。



▲ 『心のきずなを深める月間』チラシ